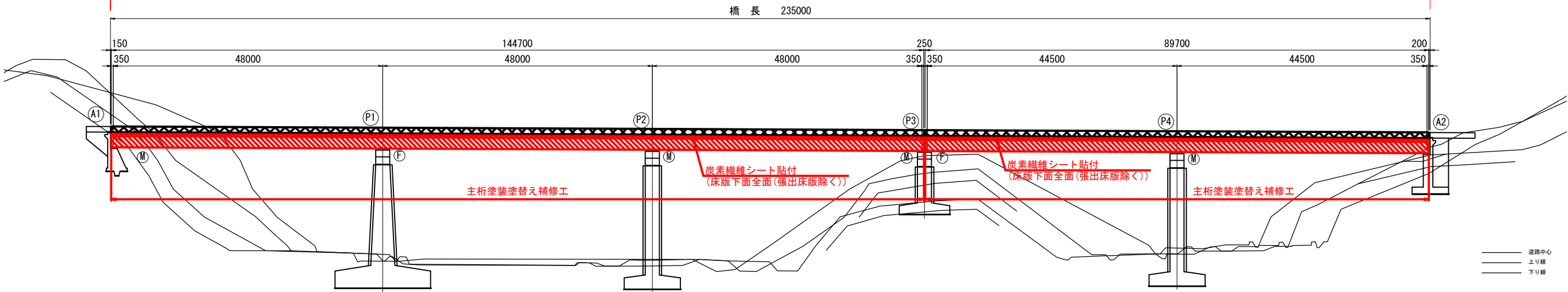


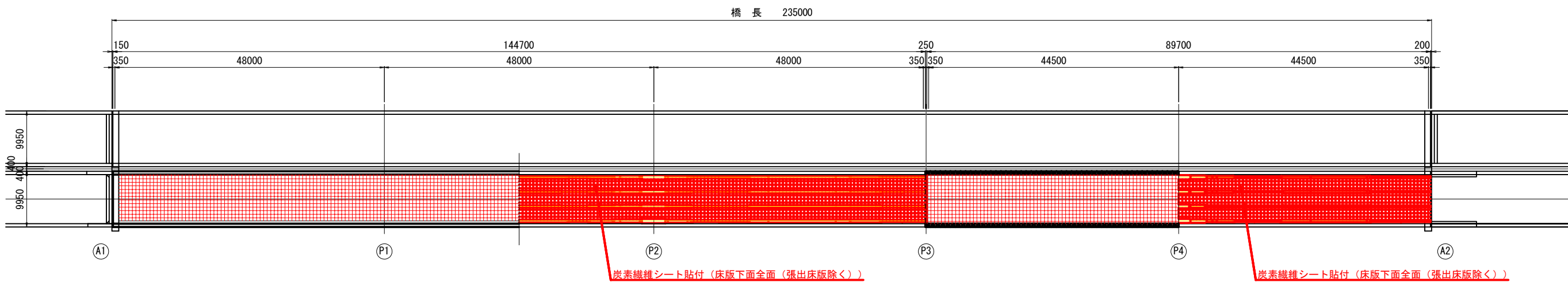
天神大橋（上り） 補修一般図

平成30年度 仙松維第9号 橋梁修繕（天神大橋）工事 施工延長 L=235m

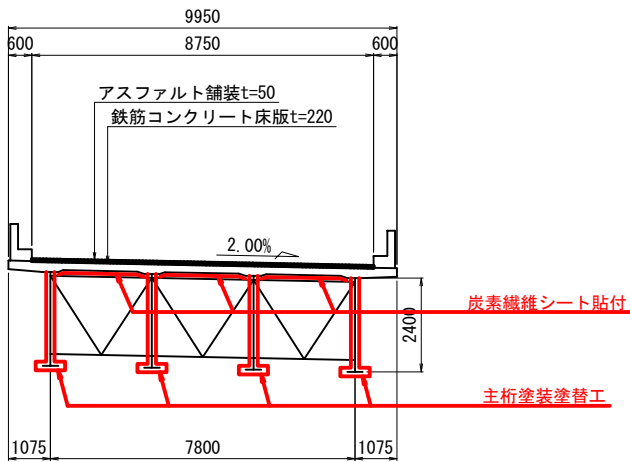
側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



標準断面図 S=1:100



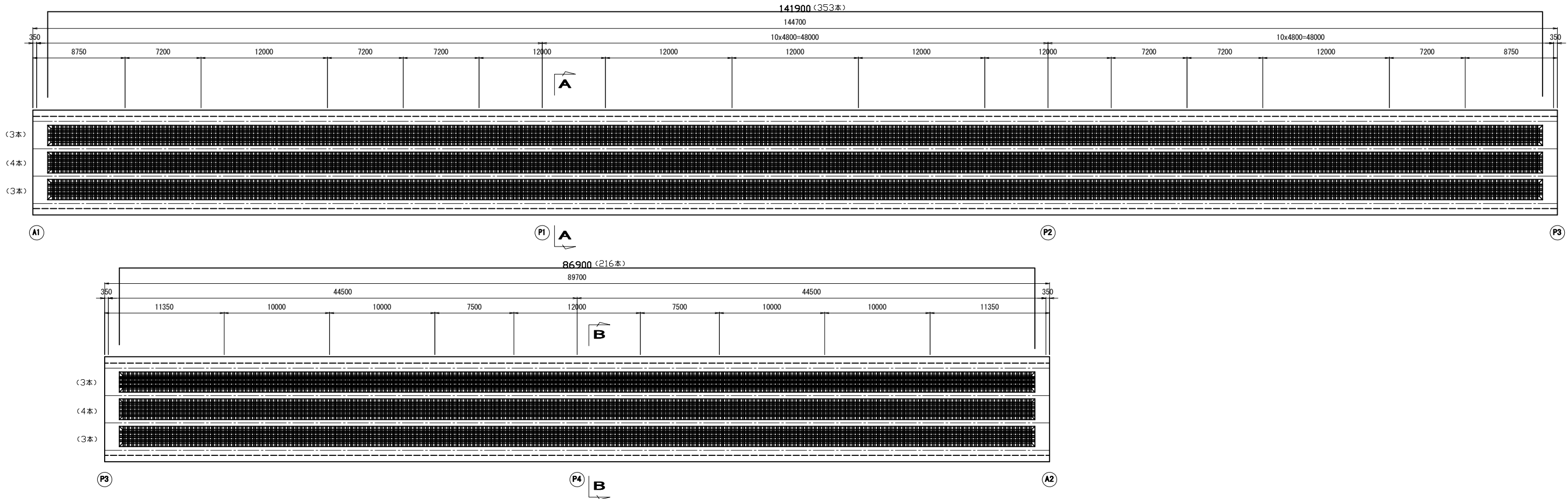
補修項目一覧表

補修項目	補修工法（仕様）	備考
地覆・高欄	防護柵 断面補修工	
橋面	舗装打替工	1～3径間
	橋面防水(複合防水)	1～3径間
	断面修復工 (A2伸縮装置)	1～3径間
主桁	塗装塗替え補修工	
床版	炭素繊維シート補修工	

工事番号	平成30年度 仙松維第9号		
路線名	主要地方道 仙台松島線		
施工地名	宮城 市 松島 町 区 地内		
工事名	仙台松島道路 橋梁修繕（天神大橋）工事		
図面名	天神大橋（上り） 補修一般図		
縮尺	図示	位置	NO. ～NO.
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社	図番	図番番号	出図番号 1/5

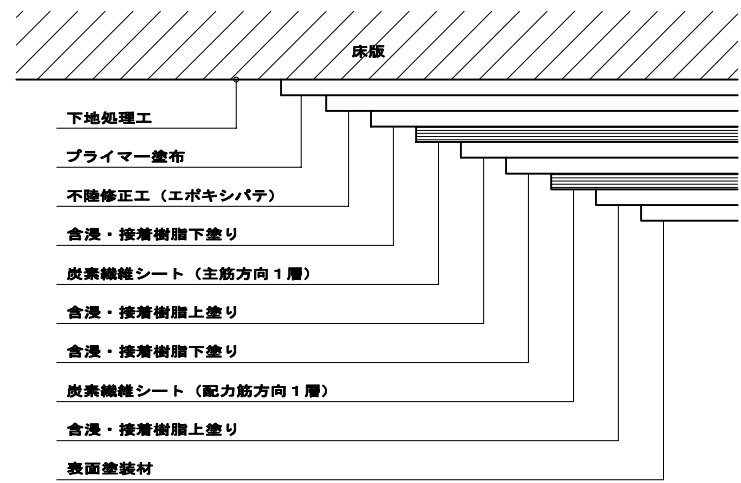
天神大橋（上り） 床版補修工図（その１）

橋面平面図 S=1:200

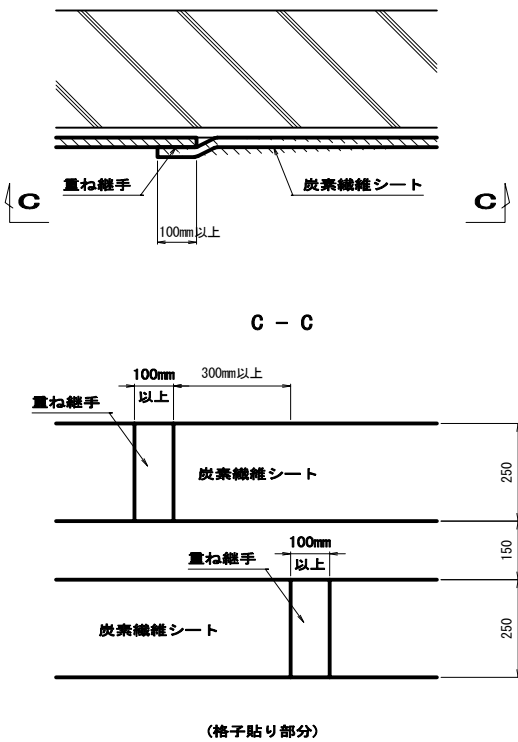


炭素繊維シート施工接着仕様図

(下面補強)



炭素繊維シート継手処理詳細図



炭素繊維シートの種類(参考)

適用箇所	床版下面（主筋・配力筋方向）
引張強度	2.4 N/mm ² 以上
引張弾性率	390～440 kN/mm ²

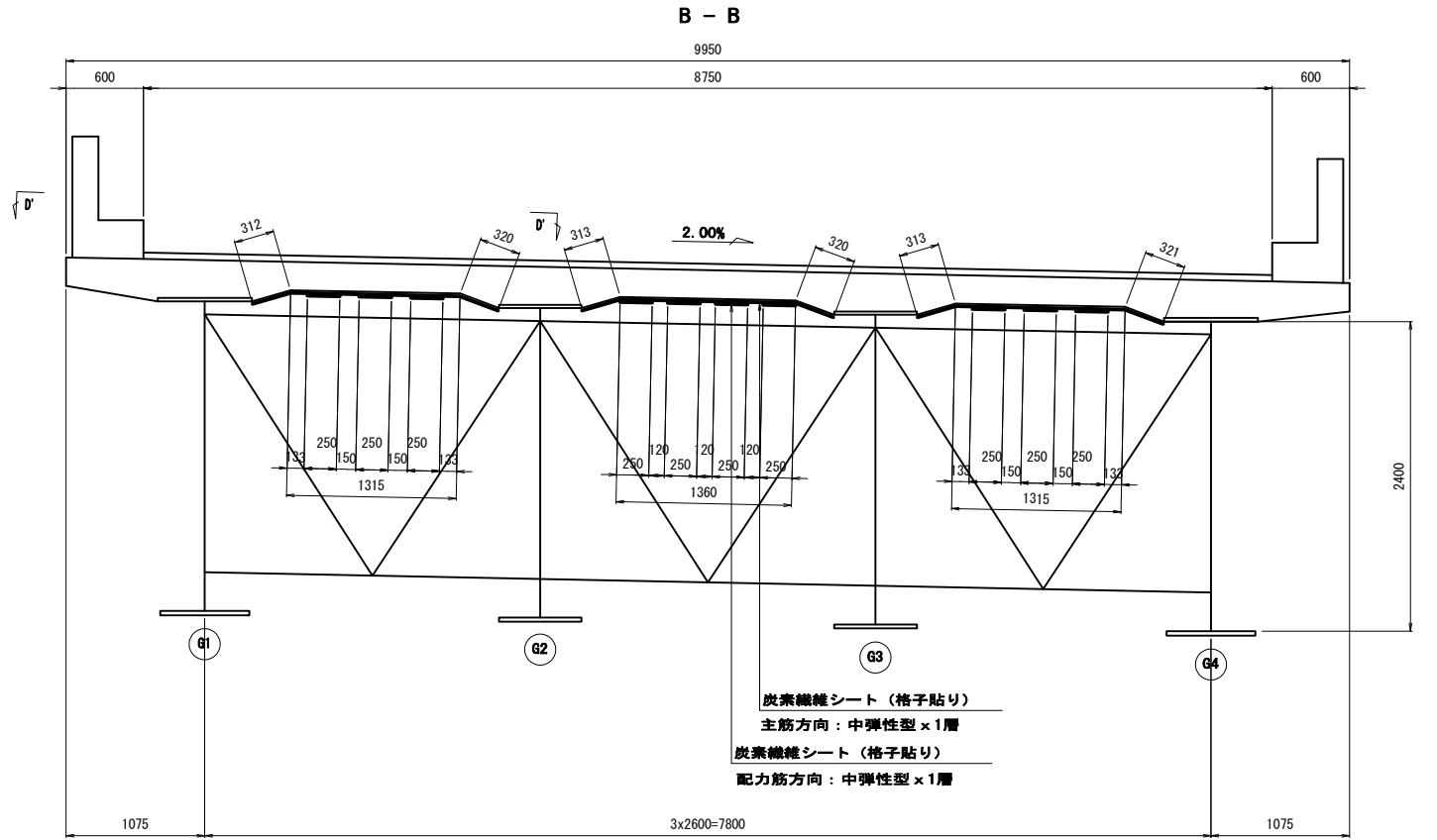
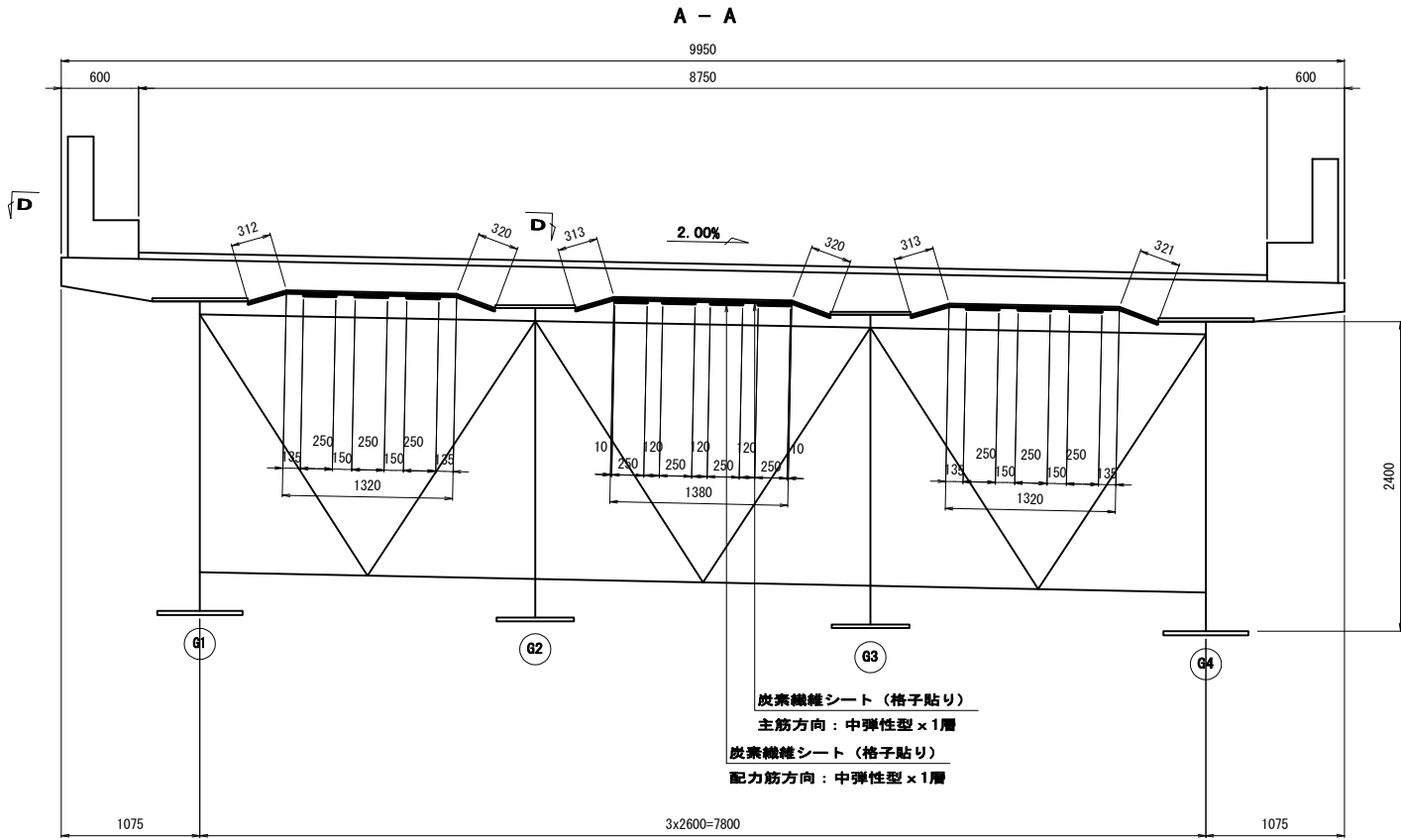
注 記

- 炭素繊維の貼付順序は、1層目に床版主筋方向を接着し、2層目に配力筋方向を接着する。
- 格間(窓)の箇所は、マスキングをして、床版コンクリート表面が露出する状態を保持する。(損傷の進行の確認および防水層破損時の止水防止のため)
- 鉄筋露出・コンクリート面の断面欠損・豆板等のコンクリート不良面がある場合には、不良部を除去して鉄筋に防錆処理を施した上でコンクリートと同等以上の圧縮強度を有するモルタル等で断面修復を行う。
- コンクリート面の凹凸は平滑に仕上げなければならない。
- プライマー塗布工は、原則としてコンクリート表面が乾燥した状態で、気温5℃以上の環境下で施工する。
- 不陸修正は、エポキシ樹脂パテで平坦にする。
- 含浸接着樹脂は、原則として塗布面が乾燥した状態で、気温5℃以上の環境下で施工する。
- 炭素繊維シートは、床版に密着するよう貼付ける。
- 詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。

工事番号	平成30年度 仙松線第9号			
路線名	主要地方道 仙台松島線			
施工地名	宮城 市	仙 台 市	松 島 町	地 内
工事名	仙台松島道路 橋梁修繕（天神大橋）工事			
図面名	天神大橋（上り） 床版補修工図（その1）			
縮尺	図示	比例尺	1/100	
設計者		設計年度		
宮城県道路公社		図章	図章番号	図章番号 2/5

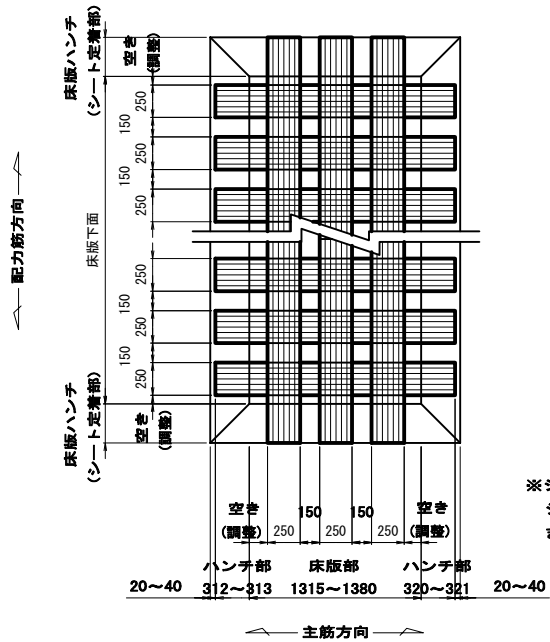
天神大橋（上り） 床版補修工図（その2）

標準横断面図 S=1:30



炭素繊維シート張付図 S=1:30

D - D' (D' - D')



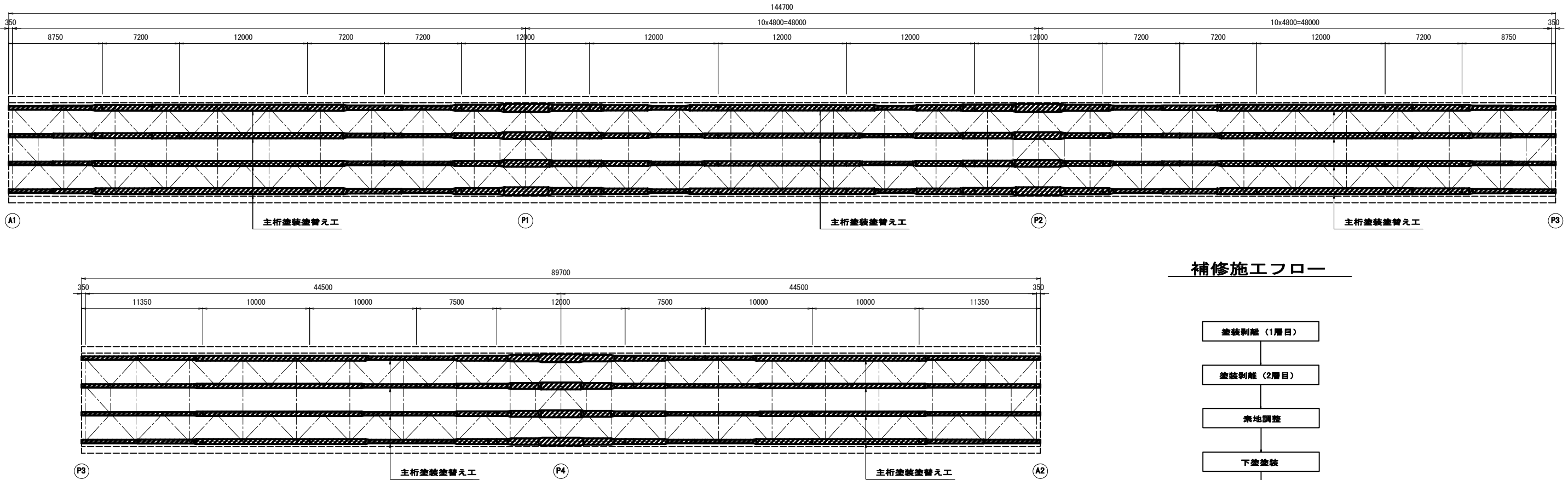
注 記

- 炭素繊維の貼付順序は、1層目に床版主筋方向を接着し、2層目に配力筋方向を接着する。
- 格間(窓)の箇所は、マスキングをして、床版コンクリート表面が露出する状態を保持する。(損傷の進行の確認および防水層破損時の止水防止のため)
- 鉄筋露出・コンクリート面の断面欠損・豆板等のコンクリート不良面がある場合には、不良部を除去して鉄筋に防錆処理を施した上でコンクリートと同等以上の圧縮強度を有するモルタル等で断面修復を行う。
- コンクリート面の凹凸は平滑に仕上げなければならない。
- プライマー塗布工は、原則としてコンクリート表面が乾燥した状態で、気温5℃以上の環境下で施工する。
- 不陸修正は、エポキシ樹脂パテで平坦にする。
- 含浸接着樹脂は、原則として塗布面が乾燥した状態で、気温5℃以上の環境下で施工する。
- 炭素繊維シートは、床版に密着するよう貼付ける。
- 詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。

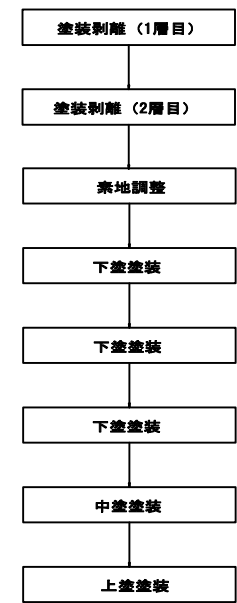
工事番号	平成30年度 仙松線第9号		
路線名	主要地方道 仙台松島線		
施工地名	宮城 市	松島 区	地内
工事名	仙台松島道路 橋梁修繕（天神大橋）工事		
図面名	天神大橋（上り）床版補修工図（その2）		
縮尺	図示	位置	概一図
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	成図番号 / 3/5

天神大橋（上り） 主桁補修工図

橋面平面図 S=1:200

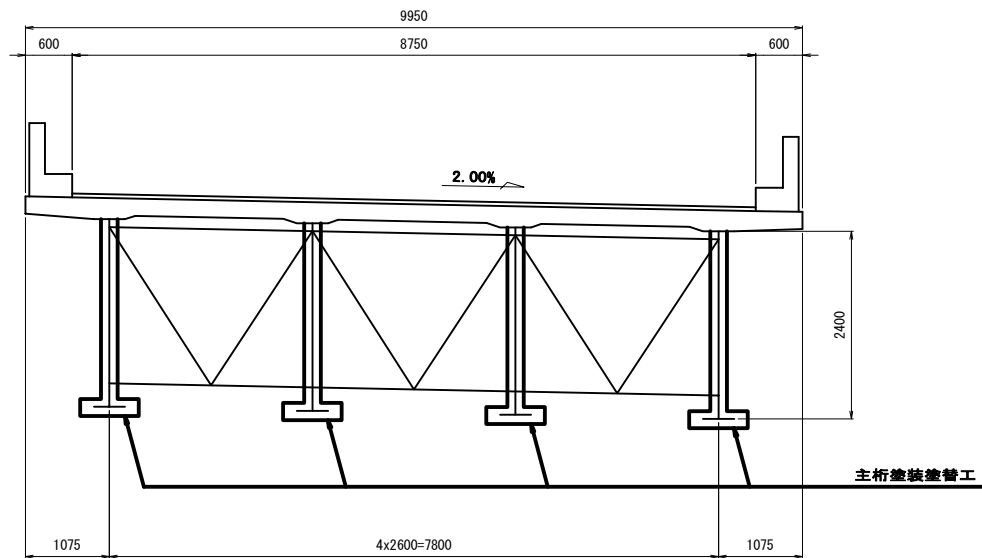


補修施工フロー



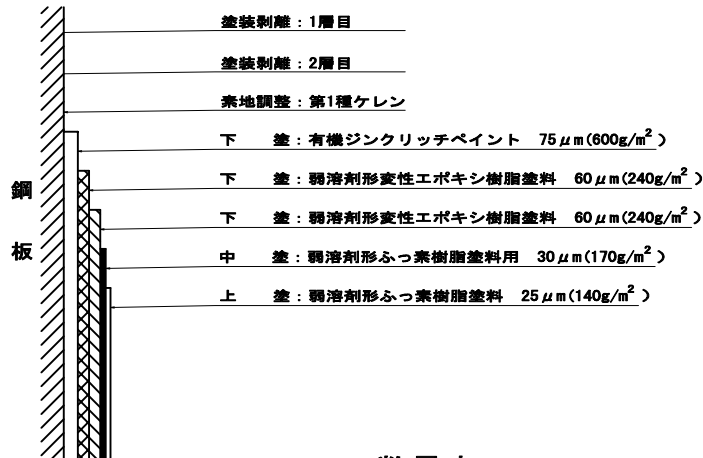
- 注 記)
- 素地調整は、塗装作業の中で性能保持に最も重要な工程であることから、塗料を塗布する面にさび、付着物等がないことを塗装作業の前に確認する。
 - ブラスト法によって素地調整を行なう際には、さびが完全に除去され鋼材面が露出した状態になっていることを確認し、くぼみ部分や狭隙部分箇所についても動力工具や手作業により鋼材面のさびや劣化部分が除去されていることを確認すること。
 - 相対湿度が85%以下のときは塗装を行ってはならない。
 - 各ロットの塗膜厚平均値は目標塗膜厚合計値の90%以上であること。
 - 塗膜厚測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上であること。
 - 塗膜測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えないこと。

標準断面図 S=1:50



塗装塗替え詳細図

(Rc - I)



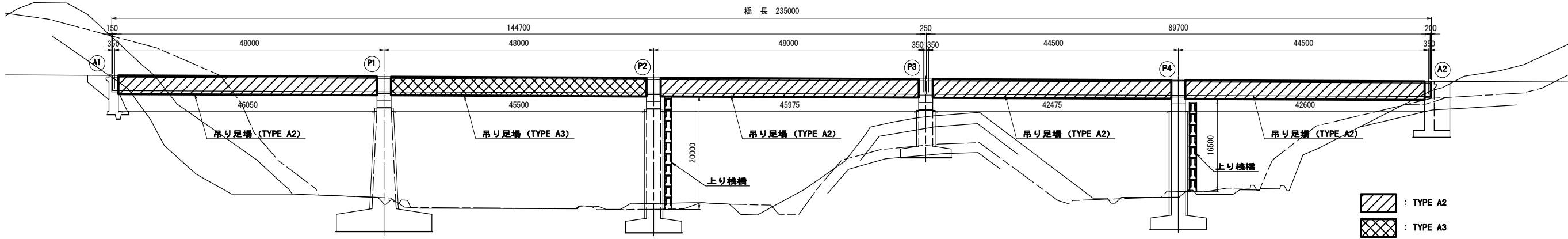
数量表

名 称	規 格	
主桁塗装塗替え工	第1種ケレン (Rc-1)	

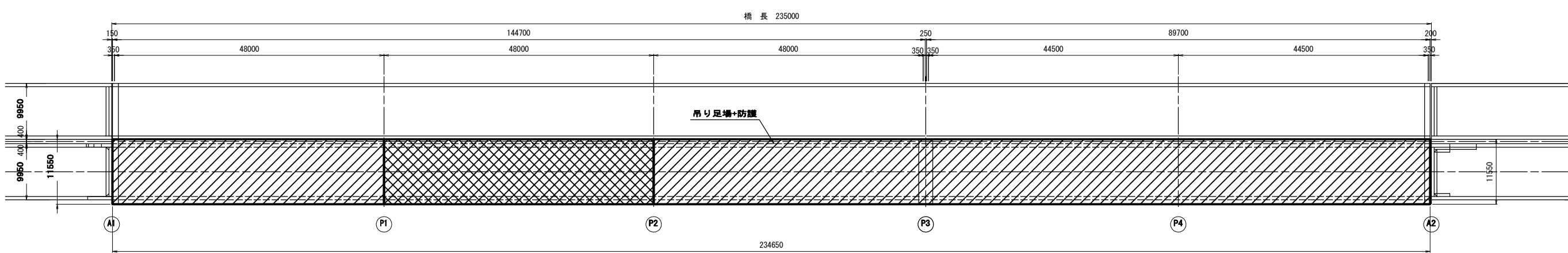
工事番号	平成30年度 仙松補第9号			
路 線 名	主要地方道 仙台松島線			
施工地名	宮 城 市	松 島 区	計 画 地 域	地 域
工 事 名	仙台松島道路 橋梁修繕 (天神大橋) 工事			
図 面 名	天神大橋 (上り) 主桁補修工図			
縮 尺	図 示	枚 数	紙 張	
設 計 者		設計年度		
宮 城 県 道 路 公 社		図 章	図章番号	図章番号
			/	4/5

天神大橋（上り） 足場工図（参考図）

側面図 S=1:400

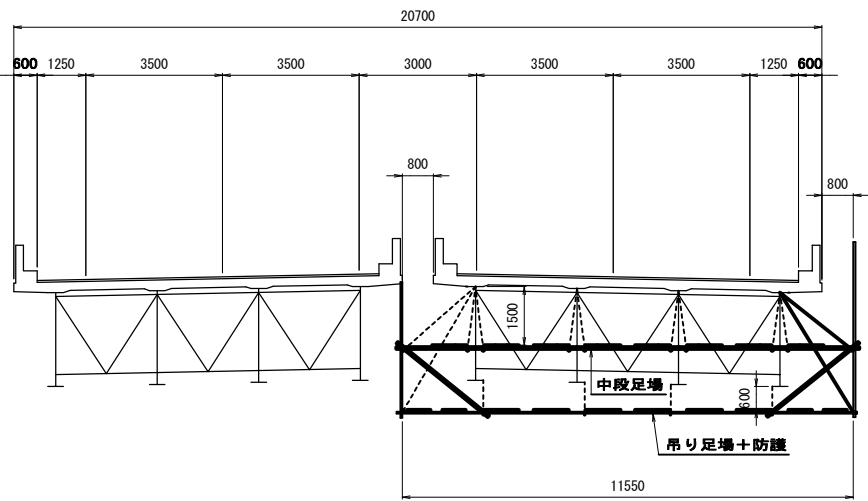


平面図 S=1:400



断面図 S=1:100

(吊り足場+防護)



- 注 記)
- 吊り足場は、「シート+板張り」防護にすること。
中段足場も設置すること。
 - 詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

工事番号	平成30年度 仙松経第9号				
路線名	主要地方道 仙台松島線				
施工地名	宮城	市	仙台	市	仙台
工事名	仙台松島道路 橋梁修繕（天神大橋）工事				
図面名	天神大橋（上り） 足場工図				
縮尺	図示	1/100	1/100	1/100	1/100
設計者	設計				
宮城県道路公社	図章	承認番号	設計番号	5/5	5/5